



まちづくり市民アンケートの結果報告 ～ 市民と共に翔る豊岡市をめざして ～

市民の意識、意見や居住実態などを把握し、市総合計画の後期基本計画策定の参考にするため、まちづくり市民アンケートを2月に実施した。

このほどアンケート結果がまとまったので報告する。

1 調査の概要

(1) 調査の目的

後期基本計画策定の参考とするため、

- 居住実態を把握
- 市政に対する要望・意見を把握

(2) 調査の方法

①調査期間

平成23年2月17日～2月28日

②調査対象

市内在住の方から18歳以上の5,000人を無作為抽出

③対象者数

5,000人

④対象者数の選定

- ・市民の意見をより多く把握するため、自由記述欄を多くし、2,000人程度の意見集約を求めた。
- ・回収率を40%と見込んだため、対象者数を5,000人とした。

⑤調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査票の回収

①回収数

1,821人（男性856人、女性938人、不明27人）

②回収率

36.4%

2. 調査結果の概要

- 定住意向では、回答者の約8割が「20年以上居住」と「生まれてからずっと居住」であり、回答者の6割以上がこれからも居住を希望している。
- 合併に対する評価では、旧市町の施設の有効利用や観光施策に一定の評価があるものの、公共料金の負担増に厳しい反応が出ている。
- 消防・救急体制の充実に好評価が出た反面、観光を除く産業振興と雇用対策へ不満が



出ている。

(1) 定住意向

- 若年層のうち10代で30%、20代で15%の回答者が「いったん豊岡市を離れてもいずれは戻りたい」と答えている。
- 転居を考える回答者の主な理由は、「公共交通の利便性の悪さ」、「災害への不安」である。

(2) 合併に対する評価

- 達成できたこととして、特に高い評価の項目はない。
- 回答者の半数が「住民負担の低減と行政サービスの向上」、「企業誘致や若者の定住促進」の今後に期待している。
- 「公共料金が高くなり、住民負担が重くなった」と約半数が回答している。
- 「一部地域だけが発展した」との回答者も前回調査より増加している。

(3) まちづくり施策

①安全に安心して暮らせるまち

- 「消防・救命体制の充実」については満足度が高い一方で、「医療環境の充実」は不満度が高い。
- 「安全や安心を守るまちづくり」などに関してはほぼ全ての項目で重要度が高い。

②人と自然が共生するまち

- 「コウノトリも住める豊かな自然の保全」、「コウノトリと共生する文化の保全」については満足度が高い。
- 今後の取り組みでは、「水道・下水道の整備」、「循環型社会の構築」、「美しい環境の確保」の重要度が高い。

③持続可能な「力」を高めるまち

- 「地域経済を元気にするまちづくり」と「賑わいと魅力を創るまちづくり」に関する取り組みは、総じて不満度が高い。
- 地域経済関係では観光を除き、農林商工業と雇用対策に強い不満が出ており、今後、果敢な取り組みが求められている。

④未来を拓く人を育むまち

- 「健やかで心豊かな子どもを育むまちづくり」「伝統・文化を未来につなぐまちづくり」に関する取り組みは、満足度と不満度が同程度である。
- 「健やかで心豊かな子どもを育むまちづくり」は、今後についても重要度が高く、推進が求められている。



⑤人生を楽しむお互いを支えあうまち

- 「日々人生を楽しむまちづくり」「お互いを支え合うまちづくり」は、満足度が不満足度を上回っている。
- 「高齢者の社会参加・生きがいづくり」は満足度が低く、反対に今後の取り組みの重要度は高い。

⑥基本計画の実現に向けて

- 「特色ある地域の成長と連携」に関する取り組みでは、豊岡地域の不満度が非常に高い。
- 「効率的な行政組織の構築」、「行財政運営」への不満が強く、今後の重要度も高い。

3. 調査結果の反映

今回のアンケートで、現在の取り組みへの不満度が高かった施策や今後の重要度が高いと回答された施策については、後期基本計画策定を進める中で検討していく。

〔問合せ〕 豊岡市政策調整部政策調整課 TEL 0796-21-9022